

経済人クラブ 春のゴルフコンペ



経済人クラブ（栗原照次郎会長）春のゴルフコンペが、名門茨木カントリー倶楽部西コースで3月29日に15名の参加で開催された。

今回を持って、ゴルフ部会長を長年務めて頂いた大倉幾三郎氏から志水利達氏にバトンタッチとなった。大倉氏は今後も自身の参加は勿論の事、このコンペが継続し、若手にもゴルフの楽しさをわかってもらい、会員相互の交流を深めてほしいとご挨拶を頂きました。

今回参加の若手の組、さすが名門茨木カントリー倶楽部のキャディーさん！合計スコアは散々たるものだったがキャディーさんの温かいサポートの元、名門コースを堪能させていただきました。

優勝は堀義博氏、2位は横田英哲氏、3位は富永昌雄氏であった。

次回は9月13日（水曜日）に茨木カントリー倶楽部東コースで開催予定。皆様の参加をお待ちしております。

（平成4年文学部卒 幹事 横田 英哲）

YOUNG CLUB

若手会第3回勉強会・交流会 「体づくりの大切さ」

関西大学経済人クラブ若手会の勉強会・交流会が、5月18日にホテル阪急インターナショナルで開催された。今回の勉強会・交流会では6名の若手が新たに参加し、大いに盛り上がった。

講師には、元プロ格闘家で、現在経営者向けのジム「STYLE」を6店舗経営している池本誠知先生をお招きし、『体づくりの大切さ』と題するご講演をいただいた。体を鍛えるという目的だけではトレーニングは長続きしない。体を鍛えることで、メンタルが鍛えられ、経営や仕事での営業成績をアップさせることを意識したトレーニングをすることが大切、という話が印象に残った。また、効率的な筋トレの仕方を参加者全員が実践を交えて教わり、会の後半の交流会では筋トレの効果から、参加者相互に積極的に関連な名刺交換や情報交換ができた。



（平成20年法学部卒 若手会幹事 糸野 慎一郎）

若手会主催のティーパーティー＆ワインセミナー

若手会主催のティーパーティー＆ワインセミナーが、11月20日に梅田キャンパス（KANDAI Me RISE）で開かれました。若手校友発掘のため、当日の運営スタッフ以外は、全て40歳以下の参加者に限定し、LINEなどのSNSを活用し、あらゆる手段でPRしました。その結果、女性37名、在校生16名含む総勢66名の校友が集まりました。

今回は、二部構成となっており、前半のティーパーティーでは、ケーキやパイ等のスイーツとコーヒー・紅茶を楽しみながら、参加者が交流しました。後半のワインセミナーでは、ソムリエを迎え、ワインに関する知識を深めました。残念ながら、未成年の在校生は試飲することはできませんでしたが、ワインの歴史や分類、そして、明日にでも披露することができるテイスタングの方法・ラベルの見方などを学びました。

最後にご多忙なか、ご参加いただいた寺内会長より「歴史ある関大に新たな息吹を吹き込んでほしい」とのメッセージをいただきました。

（平成24年法学部卒 若手会幹事 福永 広大）



若手会主催のお花見BBQ

若手会主催のお花見BBQが平成29年4月1日に大阪城公園にて開催された。今回の交流会は、Tea Party & Wine Seminar や1月の肉祭りにご参加いただいた方たちを中心に22名の参加者が集った。22名のうち大半が女性ということもあり、ビジネス関係の話だけではなく、若者らしい話で大いに盛り上がった。

BBQを設営してくれた「でりでりバーベQ」の経営者は関西大学出身であり、また、「手軽にできる燻製」を振る舞った燻製マニアも大学のOBである。毎回大学出身者になんかの形で関わってもらい、大学出身者が社会にでてどのような活躍をしているのかを、現役大学生が知ることができるのもこの会の特徴である。大学を卒業し新たに社会に出られる方、社会に出て数年経ち次の世界に飛び込もうとする方、人生のステージが変わろうとする方が多く、それぞれの新たな決意を参加者同士で共有できたことがなにより有意義であったのではないかと思います。

（平成20年法学部卒 若手会幹事 糸野 慎一郎）



KEIZAIJIN CLUB News

春

It started aiming to attempt cultivating friendship in November, 1963

- 第210回例会
- 第211回例会
- 第212回特別例会
- 第213回例会

- 春のゴルフコンペ
- 若手会第3回勉強会・交流会
- 若手会主催ティーパーティー & ワインセミナー



第212回特別例会
大自然の中で芋ほり等体験
『なめがたファーマーズヴィレッジ』
（関連記事 中面参照）



役員一覧

- 名誉顧問**
- ・上原 洋允 (昭和32年法学部法理学科卒)
学校法人関西大学 前理事長 相談役
 - ・畑下 辰典 (昭和27年経済学部卒)
関西大学校友会 元会長
 - ・森本 靖一郎 (昭和32年法学部法理学科卒)
学校法人関西大学 元理事長・前相談役 顧問

- 名誉会長**
- ・池内 啓三 (昭和40年文学部新聞学専攻科卒)
学校法人関西大学 理事長

- 名誉副会長**
- ・楠見 晴重 (昭和55年大学院工学研究科土木工学修了) 関西大学 学長

- 顧問**
- ・寺内 俊太郎 (昭和46年大学院工学研究科(金属工学・博士)修了) 関西大学校友会会長

- 相談役**
- ・稲田 昌三 (昭和34年文学部新聞学専攻科卒)
 - ・田合 邦臣 (昭和37年商学部卒)
 - ・西村 太一 (昭和31年法学部法理学科卒)

- 会長**
- ・栗原 照次郎 (昭和35年商学部卒)
株式会社栗原製作所 代表取締役

- 副会長**
- ・生田 圭一 (昭和43年経済学部卒)
株式会社大松 代表取締役社長
 - ・志水 利達 (昭和43年商学部卒)
株式会社東光商会 代表取締役
 - ・永尾 俊一 (昭和61年法学部卒)
白ハト食品工業株式会社 代表取締役

- 代表幹事**
- ・本間 敏司 (昭和61年工学部土木工学科卒)
株式会社技建設計 代表取締役

- 副代表幹事**
- ・仁井 ひろみ (昭和48年法学部法理学科卒)
仁井行政書士事務所 所長 行政書士
 - ・村上 康司 (平成6年法学部法律学科卒)
ブルデンシャル生命保険株式会社大阪中央支店 副部長

- 会計監査**
- ・大倉 幾三郎 (昭和39年経済学部卒)
株式会社オークラ水産 代表取締役社長
 - ・紀和 隆 (昭和39年工学部機械工学科卒)
株式会社紀和マシナリー 代表取締役会長

- 幹事**
- ・秋葉 明 (昭和49年法学部法理学科卒)
 - ・石田 信也 (昭和60年工学部建築学専攻科卒)
 - ・市田 利夫 (昭和45年法学部法理学科卒)
 - ・伊藤 晃亮 (昭和41年文学部新聞学専攻科卒)
 - ・植松 康太 (平成17年法学部卒)
 - ・岡田 徹 (昭和42年商学部卒)
 - ・加藤 拓 (昭和40年工学部電気工学科卒)
 - ・楠 隆夫 (平成9年工学部建築学専攻科卒)
 - ・小林 知義 (昭和47年文学部哲学科卒)
 - ・田中 義信 (昭和50年法学部法律学科卒)
 - ・谷 康司 (昭和50年法学部法律学科卒)
 - ・中井 邦夫 (昭和45年法学部法律学科卒)
 - ・長谷川 真理 (昭和59年文学部史学地理学科卒)
 - ・伏見 義仁 (平成7年工学部機械工学科卒)
 - ・藤原 輝之 (昭和59年法学部卒)
 - ・古屋敷 博文 (平成11年総合情報学部卒)
 - ・八木 正 (昭和38年商学部卒)
 - ・藪内 正明 (昭和35年法学部法律学科卒)
 - ・横田 英哲 (平成4年文学部卒)
 - ・吉見 淳史 (平成8年工学部生物工学科卒)

第210回例会「私の経営への思い」

関西大学経済人クラブ(栗原照次郎会長)第210回例会が6月13日(月)大阪新阪急ホテルで開催され、池内啓三理事長、寺内俊太郎校友会長、上原洋允、畑下辰典、森本靖一郎当クラブ名誉顧問の来賓の方々、新入会員7名、特別参加者を含め106名が出席した。

年度最初の例会のため、総会を開催し前年度事業報告・決算報告ほかの総会議事が、審議され、すべての議事が原案通り承認された。

続いて、学歌斉唱ののち、栗原会長の開会挨拶に始まり、講演会では、我が関西大学のご校友でもある、昭和36年経済学部卒業の株式会社オービック 代表取締役会長 野田順弘氏を講師にお招きし、「私の経営への思い」という、ご講演テーマにて、自身の生い立ちから、現在日本を代表する企業の成り立ち、企業理念、経営方針等について、ご講演いただきました。また、長期目標の人材育成、新卒採用、1年に1カ月の教育研修、経営方針発表会による社員全員による経営理念の共有等、人材の成長が会社の成長との方針のもとに企業が成長してきたことについて語られ、社員に求める資質としてのお話で、「あせらず、あわてず、あきらめず、あかるく、あつかましく、あほになる」のお言葉は、特に印象に残りました。そして、最後にこれからの私の経営への思いとして、オービックの成長のみならず、日本をもっと強くすることということ



(昭和60年工学部卒 幹事 石田 信也)

を語られ講演を締めくくられました。

その後、第2部懇親会は来賓ご挨拶、乾杯、新入会員紹介、特別例会、東京経済人クラブイベントのご案内等各種交流で盛り上がり、最後は副会長の閉会挨拶で終了しました。

第211回例会「大阪の魅力ー上町台地の史跡と風景」

関西大学経済人クラブ(栗原照次郎会長)第211回例会が、9月12日(月)午後6時から大阪新阪急ホテルで開催され、寺内俊太郎校友会長、上原洋允法人相談役の来賓と、新入会員1人、特別参加者を含め62人が出席した。村上康司副代表幹事の司会で開会、学歌斉唱、栗原会長挨拶の後、講演会に移った。

今回は、昭和63年母校の大学院文学研究科博士課程卒業の校友で、阪南大学国際観光学部教授の来村多加史先生を講師にお招きし、「大阪の魅力再発見ー大阪観光の核となる上町台地の史跡と風景」と題して講演いただいた。

阿倍野区から天王寺区へへ大阪城公園にいたるまでの上町台地。来村先生は、パワーポイントとカラー印刷の配布資料を使って、この台地を這い上がる逢坂をはじめとする「天王寺七坂」や一心寺、安居神社などの寺町の風景、また坂の途中や麓に湧き出る7名水と呼ばれる井戸について、詳しく解説された。また、都市開発の影響で湧かなくなってしまった井戸でも、石碑の一つ立てるだけで観光名所になり人が集まるなど、観光地としての取り組みについての提言もあった。

最後に、皆さんも、天神坂の石畳の趣きのある景観や坂道の途中にある当時の湧水を再現した施設など、大阪の魅力を再発見できる各史跡を是非歩いていただき、大阪通になっていただきたいと述べ、講演をむすんだ。会を代表して生田圭一副会長から謝辞が述べられ講演会を終了した。



(平成7年工学部卒 幹事 伏見 義仁)

講師の来村先生にも参加いただいた第2部懇親会は、上原法人相談役の来賓挨拶、寺内校友会長の乾杯で開宴。

歓談が進む中、新入会員紹介、関西大学フェスティバル in 四国の報告、特別例会の案内等の各種交流で盛り上がり、最後は、仁井ひろみ副代表幹事の閉会挨拶の後、藪内正明幹事の大阪締めで盛会裏に終了した。

第212回特別例会「大自然の中で芋ほり等体験 ～東西経済人クラブの交流も～」

経済人クラブ(栗原照次郎会長)第212回特別例会が、10月26日(土)に開催され、ゲストを含め37人が参加した。年に一度の特別例会は、通常例会による講演形式とは違い、これまでも酒蔵コンサートや工場見学など様々な企画を実施してきた。今回の特別例会は、おもしろいお店「らぼぽぼ」、たこ焼きの「道頓堀くくる」を全国展開する、当クラブ副会長を務める永尾俊一氏(白ハトグループ代表)が経営する、茨城県行方市にある農業テーマパーク『なめがたファーマーズヴィレッジ』の体験型見学ツアーを企画、関東ということもあり、相互の一層の交流も含めて東京経済人倶楽部との合同での開催となった。

一行は、9時40分東京駅に集合し、貸切バスで一路なめがたを目指した。車中では、今年の新卒校友で、なめがたのスタッフとなった中野聖美さん(平28学文)から施設の魅力を語っていただくと共に、農業テーマパーク開設に至るまでの、白ハト食品とJAなめがた、地元さつまいも農家との協力や東日本大震災への対応などを記録したDVDを鑑賞、永尾社長からは後継者のいない日本の農業の現実等を説明いただき、しっかりと予備知識をつけた。現地に到着。まず、温度・湿度管理によって長期保存を可能にした巨大なJAのサツマイモ貯蔵施設を見学、続いて、会員が自分の畑を持ち、プロの指導でいるんな野菜を育て、収穫する感動を味わえるロイヤルファームを見学、その広大な敷地面積に圧倒された。

昼食は、朝に採れた新鮮な野菜を材料に使った、食べても肥らない料理に舌鼓をうち、普段知ることのない野菜の育て方などの裏話も聞くことができ、アルコールのピッチもかなり上がった。こちらの施設は、積極的に若者を採用し、地域と協力しながら日本の農業を躍進させる農業テーマパークとして注目されており、テレビ等でも数多く紹介されている。食後、セミナールームで実際に働く若者たちの生の声を聞き、情熱が伝わり、こちらもやる気と元気をもらった。

続いて、焼き芋ファクトリーミュージアムを見学、子供から大人まで楽しめ、廃校となった小学校跡地が最大限に活用されていた。見学には、宿題帳も用意されており、全問正解を目指して、一心不乱に童心にかえるひと時を過ごした。

最後は、「芋掘り」と「おかし作り」を別れて体験。子供のように笑顔満面で土を掘り返し、大きなサツマイモが現れて喜び合う姿が印象的だった。普段の生活にほとんどない大自然に囲まれた雰囲気の中で、夢中になるひと時を過ごし、参加者全員が満足して帰路についた。



(平成8年工学部卒 幹事 吉見 淳史)



第213回例会「関西大学の総合所見 ～強いところと弱いところ～」

経済人クラブ(栗原照次郎会長)第213回例会が、講師に昨年10月関西大学第42代学長に就任された芝井敬司先生を迎え、2月13日に大阪新阪急ホテルで開催され、当クラブ名誉会長の池内啓三理事長、当クラブ名誉顧問の上原洋允法人顧問らの来賓を含め60人が出席した。

学歌斉唱、栗原会長挨拶の後、早速講演に移り、芝井学長から約1時間に亘り、「関西大学の総合所見～強いところと弱いところ～」というテーマでお話いただいた。芝井学長は、はじめに、①関西大学の改革のために…「改革の再起動」に向けて、②130年の伝統を踏まえつつ、「すべてを変えること」を目指す…「教育、研究、社会連携、国際活動/学生」に対して、入口ー入学、出口ー就職、中身ー進路、について学長としての考えと改革推進に当たっての力強い決意を述べられた。

続いて、全国の大学を取り巻く状況・大学の持つ組織自体の問題、関西大学の現状等につき、配布資料をもとに詳しく説明され、関西大学の理念…「学の実化(じつげ)」の再認識を強調された。また、「存在感ある大学」を目指して、就任後100日間で実施したこと、今後進める多面的な改革、今後の夢を述べ、最期に、仕事の三則…「簡潔・迅速・痛快」「諸事日限を定め、遅滞あるべからず」を紹介、「私も仕事の三則に則って改革を推進していきます」と結ばれた。

その後、講師を囲んでの懇親会では、池内理事長の挨拶、上原名誉顧問の乾杯の後、サプライズで2月7日に誕生日を迎えられた芝井学長にお祝いのケーキと花束の贈呈が行われ、拍手で祝意を表した。

また、第212回特別例会(なめがたファーマーズヴィレッジ訪問)と若手会のティーパーティー&ワインセミナーのフォトムービー上映や新入会員紹介等の各種交流で盛り上がった。

(昭和61年工学部卒 代表幹事 本間 敏司)

